

交渉情報	NO.18	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2013年11月1日	添付資料:80枚

りんごゆうパック差立オペレーションの実施について

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日（11月1日）「りんごゆうパック差立オペレーションの実施」について地方本部に説明してきました。

標記概要は、長野県各地域における「りんごゆうパック」の取扱物数増加に対応するため、臨時運送施設を設定し、円滑かつ効率的な運送を確保するものです。

分室の設置は以下の通りであり、集積所及び待機所は支社資料を参照願います。

地域	名称	作業内容	開設期間
北信地域	中野分室	東京・北関東・新潟方面あて 区分・差立作業	H25. 11. 8～H25. 12. 24
	千曲分室	東京・北関東・新潟方面あて区分・ 差立作業	H25. 11. 14～H25. 12. 24
	小布施分室	東京方面あて区分・差立作業	H25. 11. 14～H25. 12. 24
中信地域	豊科分室	全国あて区分・差立作業	H25. 11. 14～H25. 12. 20
南信地域	飯田分室	東京・綾瀬・静岡・愛知・三重・ 大阪方面あて区分・差立作業	H25. 11. 14～H25. 12. 20

別紙2では、年末期差立（りんご）オペレーション作業内容を示しており「1 地域区分拠点（分室）の設置、2 集積所等へのゆうパック集約、3 集積所等における事前区分と輸送、4 運送便の設定と役割」について記載されています、また38・39地域とも同様な内容です。

別紙3には「地域区分拠点（分室）の設置」に伴う「りんごゆうパック差立オペレーション計画」がフローで示されており、併せて分室等における「輸送容器作成方（区分方）」が記載されています、また運送便については支社資料を参照願います。

地本では、予定取扱物数を質したところ108万個とし、これは各支店の目標数を積み上げたものであり、昨年実績とほぼ同数としております。

管外差立については昨年と同様に、概ね16時30分頃までに集荷した「りんごゆ

うパック」については、当日の運送便で差立てることとし、それ以降のものは、翌日の臨時便若しくは上一号便で差立てる計画となっています。

また、昨年と同様に「りんごゆうパック」の「時間帯別・あて地別・重量別」の物数把握を行なうとしていますが、地本では100万個もの「ゆうパック」について行なうには、要員の上積みが必要と求めています。

総体の労働力について質したところ、上記も勘案し計画中であり、別途説明としていますが、当該局においては昨年度を元に募集中としています。

なお、パレット（輸送容器）については、本社配備の鉄製5型パレット・4,000台を使用するとともに、発着管理システムにより管内・管外から必要な回送の徹底をはかっていくとしています。

【労使対応】 年繁計画と合わせ当該局における単局窓口